

# SIFA ニュース



NO. 98

2018年度 秋号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

## ブラジル式クリスマス料理講座

と き：12月9日(日)10時～14時 ところ：鈴鹿市文化会館 調理室  
講 師：タカダ カズコ (ブラジル、ピラッキ市出身)  
定 員：32名 (先着順・賛助会員優先)  
料 理：ローストチキン、サウピカアオン・サラダ、アホス・ア・グレーガ(味ご飯)  
参加料：賛助会員 1,000円 一般 1,500円  
申込み：11月29日(木)までに、はがき・FAX・E-mailにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、協会(〒513-0801 神戸1-17-5)へ  
※ 受講案内は11月30日(金)より順次発送予定



### 内 容

[案内]

- 国際理解料理講座&企画展
- 国際理解講座 医療支援から難民問題を考える

[報告]

- ベルフォンテン市中高生との交流
- 学習支援ボランティア養成講座
- 夏の鈴鹿川体験

## 110年にわたるブラジルと日本との絆 パネル展

日本人のブラジル移住110周年を祝い、在名古屋ブラジル総領事館が企画した子どもの絵コンテストの優秀作品や、移住時に撮られた写真を展示します。

と き：12月19日(水)～12月23日(日)  
平日 8:30～17:15 土曜日 10:00～17:00 日曜日 9:00～12:00  
※12月19日は、準備の為 12:00～  
ところ：鈴鹿市役所 1F 市民ギャラリー



## 国際理解講座 医療支援から「難民問題」を考える

入場無料

テレビで報道されている「難民問題」について、シリアの現状を子どもの目線で捉えたドキュメンタリー映画「シリアに生まれて」の鑑賞や、難民キャンプで実際に医療支援を行った看護師さんの話を聞いて考えてみませんか。

と き：11月3日(土) 13:30～16:30  
ところ：鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス 6103 講義室  
スケジュール 第1部 「シリアに生まれて」上映  
第2部 東 恵理さん(伊勢赤十字病院)のトーク

定 員：40名  
申込み：10月30日(火)までに、住所・氏名・電話番号をメール・ファックスにて本協会(☐sifa@mecha.ne.jp FAX:059-383-0639)まで



MAP



ケータイ申込



宝くじ社会貢献広報事業

鈴鹿市・ベルフォンテン市 青少年相互交流事業

# First visit 30<sup>th</sup> Anniversary 受入れ報告

## ベルフォンテン受け入れスケジュール

7月25日(水)	鈴鹿到着⇒ホームステイへ
7月26日(木)	AM 鈴鹿サーキット見学 PM 伊賀忍者博物館
7月27日(金)	8:45-9:45 市長表敬訪問 9:50-10:10 議場見学 10:30-11:10 鈴鹿不燃物リサイクルセンター 11:45-12:15 合川小学校 校舎見学 13:00-15:45 “環境フォーラム” 16:15-17:05 鈴鹿市消防本部 中央消防署 見学 17:15-18:05 夕食 (インド村) 18:15-21:00 着物文化体験(鈴鹿市文化会館)
7月28日(土)	終日ホームステイ
7月29日(日)	フェアウェルパーティ
7月30日(月)	鈴鹿出発 ⇒ 帰国の途へ

7月25日~30日、ベルフォンテン市より訪問団(派遣生7名と引率者4名)を受け入れました。



来鈴翌日は鈴鹿サーキットを訪問しました。ちょうど8耐ウィークだった為、モリワキレーシングのピットを訪問し、また、メディアセンターや計時室、表彰台などを見学させて頂きました。



午後からは、伊賀流忍者博物館に行きました。

29年度に鈴鹿の派遣生がベルフォンテンを訪問した際、アニメで人気の高い忍者のプレゼンテーションを行い、忍者の任務や生活、衣装や持ち物などを紹介したため、今年度も引き続き忍者について学んでもらおうと、実際に忍者博物館を見学し、忍者体験をしてもらいました。



市長表敬訪問では、ベルフォンテン市長からの親書を末松市長に渡した後、派遣生達がトリビアクイズをして、オハイオ州の紹介をしてくれました。とても楽しくオハイオのことが学べたので、みなさんもいくつか挑戦してみてください♪

- ①オハイオ州出身の宇宙飛行士は何人いるでしょう？  
A. 4人 B. 17人 C. 24人 D. 33人
- ②オハイオ州の魚は何でしょう？  
A. Tuna (マグロ) B. Walleye (スズキ目で最も大きいウォールアイ)  
C. Sardine (イワシ) D. Carp(コイ)
- ③45人いる歴代アメリカ合衆国大統領のうちオハイオ州出身者は何人でしょう？ A.0人 B. 7人 C. 17人 D. 27人

答:① C.24人 有名なのは、ジョン・グレン(アメリカ人初地球周回軌道飛行)/ネイル・アームストロング(人類で初めて月面着陸)  
② B.ウォールアイ(食べられます!)  
③ B.7人(バージニア州の8人について全米で2番目)



今回、学生間交流でメインにしていたテーマは“環境”です。昨年、鈴鹿市からベルフォンテンを訪問した派遣生の1人が、ホストファミリーのお宅で、たくさんご馳走を出して頂いたものの、残った残飯を惜し気もなく捨てていた様子を見て、日本のもったいない精神について言及したことがありました。そこで、今回、食品ロスの問題も含め、環境について互いに発表したり意見を交換したりしよう！ということで、“環境フォーラム”を開くことにしました。

それに先立って、まずは、不燃物リサイクルセンターを訪ねました。



施設の概要説明や鈴鹿市のゴミ分別について、又、不燃物がどのようにリサイクルされるかなど、職員さんのお話や DVD を観て勉強しました。その後施設見学をした後、合川小学校に移動して、学校のゴミ分別の状況なども見学しました。



その後、ベルフォンテン派遣生と、合川小学校の児童&昨年の鈴鹿の派遣生 OB が一緒になって、“環境フォーラム”をしました。

まず、はじめに、三重県環境学習情報センターから講師を招いて、主に食品ロスの話をして頂きました。実際にどれだけの食品が廃棄されているのか現実を知った後、何故このようなことが起こるのか、これをなくすにはどうしたらよいか、児童・生徒達で話し合いました。



空腹で買い物に行かない。料理を作り過ぎない。賞味期限をよく見て気を付ける。皮を厚く剥き過ぎない。好き嫌いをして残さない。外食した時は、ドギーバッグで持ち帰る。残った食品は、生活に困っている人達に分けたらどうか？など、様々な意見が出ました。

その後、ベルフォンテンメンバーが「ローガン郡におけるリサイクルと環境問題の取り組み」について発表しました。そして、鈴鹿 OB メンバーも、鈴鹿市における環境問題への取り組みについて発表し、「もったいない精神」という言葉をしっかり覚えて



もらいました。

日本文化紹介では、十二単・束帯と振袖・紋付の試着体験をして頂きました。

ここでも、まず”環境問題”に因み、エコなもののひとつとして「風呂敷」を紹介しました。1枚の布でどんなものでも包んでしまえる風呂敷で、実際にすいかやワインを包んで見せました。

十二単は、小林豊子きもの学院様に、実際に着付けていく様子を見せて頂き、当時の文化も含めて詳しく説明をして頂きました。その後、全員が試着体験をしました。



フェアウェルパーティでは、副市長の挨拶後、英語落語やフィリピンバンドの演奏を披露しました。

みんなで OSU (オハイオ州立大学) の校歌を一緒に歌って踊ったり、わいわい春まつりで人気の「フィリピーノカ」で輪ダンスを踊ったりしました。大変充実した6日間でした。



※詳しいレポートは、SIFA ホームページに掲載していますので、そちらをご覧ください。

# 学習支援ボランティア養成講座



8月2日(木)、9日(木)にジェフリー鈴鹿にて学習支援ボランティア養成講座を開催しました。講師は、鈴鹿市教育委員会の日本語教育コーディネーターの吉川先生にお願いしました。

まず、市内の公立小中学校に通う外国につながる子どもたちの状況を学びました。その後生活言語と学習言語の習得にかかる時間について、ある子の実例から考え、子どもに合わせたリライト教材(分かりやすいように書き直した

教材)を作ってみました。

また、8月23日には、一ノ宮小学校の国際教室で実際に子どもたちの支援を体験しました。最初は、お互いに緊張していましたが、時間がたつにつれ、子どもたちはボランティアさんと打ち解けて一緒に夏休みの課題に取り組みました。休憩時間には、いろいろ身の回りの事を話したりして、とても良い雰囲気でした。最後には、次はいつ来るの?と淋しそうにしている子もいて、後ろ髪をひかれてしまうボランティアさんもありました。



後日、一ノ宮小学校からは継続的に支援に来てほしいとの要望もいただき、教育支援課にマッチングしていただきました。

## 夏の鈴鹿川体験

いつも夏休みの後半に鈴鹿川の河川緑地公園で行われる夏の鈴鹿川体験に今年も私たちは参加しました。主に、マンスリーすずかやチラシの多言語翻訳で協力したのですが、その甲斐あってか、当日の8月26日(日)には外国人も含め、1,000名を超える方にご来場いただけました。



いかだ流しや飛び石わたり、魚とり、宝探しなど、子どもたちがワクワクするイベントが盛りだくさんでした。工作等のブースやキッチンカーもあり、一日を通して楽しめる方が多かったです。イベントの2

日前の台風によりいつもに増して水量が多かったのですが、大きな事故もなく終えることができました。

今年参加できなかった方も、来年是非ご参加ください。

公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸1-17-5 別館第3 TEL: 059-383-0724 FAX: 059-383-0639

✉ sifa@mecha.ne.jp URL: <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>